

今後の取組の住民説明会は梅雨明けに

16日の市議会で大谷市議は、花月川河川改修と市道の整備、内水氾濫対策について質問しました。土木建築部長は「住民説明会は梅雨明け」を国と協議していると述べ、下水道局長は「内水氾濫の浸水シミュレーションは令和4年3月末になる」と答えました。

住民のまちづくりへの配慮も要望しました。

内水氾濫対策の今年の取組

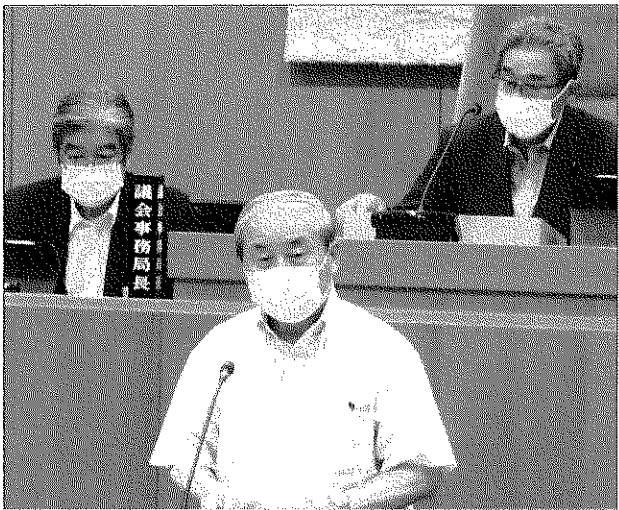
大谷市議は吹上・丸山地区の内水氾濫対策の今年の取組を質問しました。

住民説明会など今後の取組
新型コロナウイルス感染症の関係もあり、花月川右岸の吹上や丸山の両地区住民に対する住民説明会は、昨年から開催されていません。大谷市議は、今後の取組、説明会の予定について質問しました。

土木建築部長は「用地調査

は昨年完了した。5月から訪問を予定していたが感染拡大で戸別訪問は止めている。福岡県の緊急事態宣言が解除されたら訪問する。工事については道路の付け替えを先行し河川の拡幅を行う予定。一般的に河川拡幅工事、橋の付け替えは下流からおこなうが、用地協議の状況によっては、施工が可能となった所から始めこともある。地区の住民説明は重要で、福岡県の緊急事態宣言が解除され次第、梅雨明けのできるだけ早い時期の開催を地元、国と協議したい」と答弁しました。

花月川改修と内水氾濫対策



また、大谷市議は丁寧な用地協議と浸水被害のない安全安心で快適な住環境を求める

下水道局長は「道路の形態や河川堤防の樋管、樋門の形状、位置、大きさ、高さが3月末に決定。これを考慮した浸水シミュレーションの業務を5月に委託し、令和4年3月までの工期で発注。内容は吹上、丸山地区の浸水被害対策に必要な日ノ出、天神、上手地区106haの区域内の排水路の調査・測量など、現況の雨水排水の状況を確認した上で、対策を考慮した浸水シミュレーションを行ない軽減効果を検証する。これを踏まえて、今後の整備に取組む」と答弁しました。

また大谷市議は、北友田1丁目、花月川左岸の桂林、咸真、玉川3丁目地区などの内水氾濫対策も今後検討するように求めました。

局長は「今年は城内雨水幹線、二本松雨水幹線の改修に取組み、玉川地区などは雨水排水ポンプの配置、排水ポンプ車等に対応する」と述べました。

3種混合とポリオのワクチン

就学前子どもの希望者に接種補助を

日本小児学会は、現在2歳までに4回実施している4種混合ワクチンの効力が、就学前の子どもでは後退するので、3種混合と不活化ポリオワクチンを5回目として接種することを推奨しています。大谷市議は小児科医の意見も聞き、子どもを持つ保護者で接種希望者に市として助成してはどうかと質問。

福祉保健部長は「費用は全額自己負担で希望する方には経済

的に負担となっている。一方、国の厚生科学審議会では、追加接種の必要性について、現在議論が進められている段階。市は審議会の動向を見極めながら補助についても慎重に判断したい」と答弁しました。
県内でも竹田市や津久見市、豊後高田市などは、昨年からは任意接種で自己負担なしです。子どもの健康を守る立場から5回目の任意接種と無料化を求めます。

